

日刊 動労千葉

1988.2.15
2758
No.

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

鉄道労連による片仕切り弾劾

動労千葉は、二月十日、「六三・三ダイ改」について第三回目の団体交渉を行った。この間における交渉で「六三・三ダイ改」に関する労働条件として重要な、①A B運用 ②作業ダイヤ ③要員状況等の資料提案を追求してきたところであるが、千葉運行部は硬直した反動的な対応に終始し、「会社としては提案する必要はない、と判断している」と、またも拒否したのである。

労働強化と安全無視を容認する鉄道労連

一方、動労革マル・鉄道労連は、現場労働者に労働強化を強いるとともに、安全を無視した「六三・三ダイ改」について、労働条件もまたもに提示されないまま、会社当局と一体となって提案どおりの内容で片仕切りを強行し、妥結したのである。

乗務員は食事時間がなくても良い

動労千葉は、団交において、「六三・三ダイ改」について、会社が利潤を生むためには、労働者を働くだけ働かせ、働けなくなったら切り捨て、しかも、安全などは全く無視して強行しようとしていることの本質を暴露・追及した。

「六三・三ダイ改」における動力車乗務員の作業は、食事時間はもとより、休養も取れない内容となっている。この点に対する追及・修正要求に対し、当局回答は、「動力車乗務は勤務の特異性から、効率のためには食事時間が制限されてもやむを得ない」「食事が出来なければ自分で考えれば良い」「一律に食事時間を確保しなくても良い」と開き直り、労働者の基本的人権まで無視しようとする反動的なものであった。

まともな教育も行わずに五日、五日の兼職を強要

また、安全無視についても、「六三・三ダイ改」の計画の中で、E Cの車両技術係にD Cの作業検査をやらせることになっているが、十五年前に車

63.3ダイ改 大暴言

効率化のためには食事はいくで助け

両係として、気動車の検修作業を行ったことがあるからとして、一週間の見習いだけで強行しようとしている。

仕業検査は完全な車両で列車を走らせるために行うものであり、当然にも、車両の修繕に伴い車両状態を判断しなければならぬ作業であり、最も熟練を要する業務である。しかるに、一週間の見習いだけで規程について教育も行わず強行することは、無責任であり、また安全を無視したものである。この点についても、会社当局は何の具体的な根拠も示さず「問題はない」と、反動的居直りに終始するばかりである。

「六三・三」強行実施を許すな

動労千葉は、動労革マル・鉄道労連、会社当局と一体となった片仕切りを弾劾するとともに、「六三・三ダイ改」強行実施を阻止し、職場要求を対置して、労働条件の確保と運転保安の確立に向けて決起しよう。

3.27(日)	3.8(土)
年休体制・スト体制で運動員を	第17定期委員会
主催 反対同盟 ところ 三里塚現地	とき 13時 ところ 労働者福祉センター
集会 三里塚全国総決起	63.3ダイ改 強行実施を許すな 三里塚へ！